

2022 年経済構造実態調査（製造業事業所調査）結果の概要（広島県）

1 概況

2022 年経済構造実態調査（製造業事業所調査）によると、

広島県の製造品出荷額等は、9 兆 9439 億円で全国 10 位（前年 11 位）

広島県の付加価値額は、3 兆 1019 億円で全国 11 位（前年 13 位）

○広島県の産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で 3 兆 531 億円（構成比 32.9%）

○広島県の産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で 7905 億円（構成比 24.4%）

表 1 主要項目の状況(全事業所)

項 目	広 島 県					全 国	
	実 数	前年からの増減数	前年比 (%)	全国シェア (%) (前年)	全国順位 (前年)	実 数	前年比 (%)
事業所数(所)	5,893	1,081	22.5	2.6 (2.7)	13 (14)	222,770	26.0
従業者数(人)	212,956	5,200	2.5	2.8 (2.8)	11 (11)	7,714,495	3.3
製造品出荷額等(億円)	99,439	10,741	12.1	3.0 (2.9)	10 (11)	3,303,093	9.4
付加価値額(億円)	31,019	4,710	17.9	2.9 (2.7)	11 (13)	1,066,375	10.1

※前年の比較は経済センサスのデータによる。

図 1 製造品出荷額等：上位15都道府県

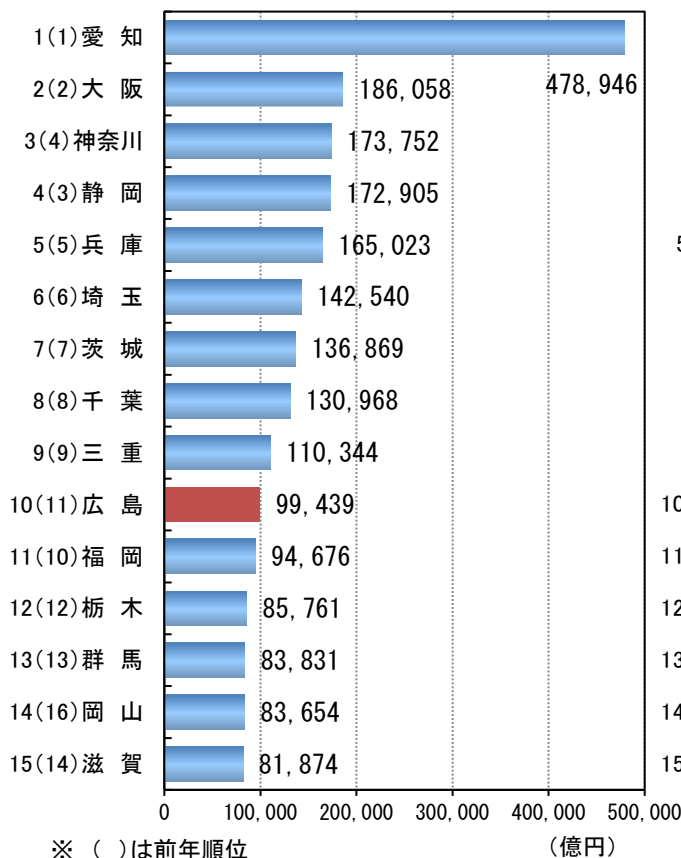
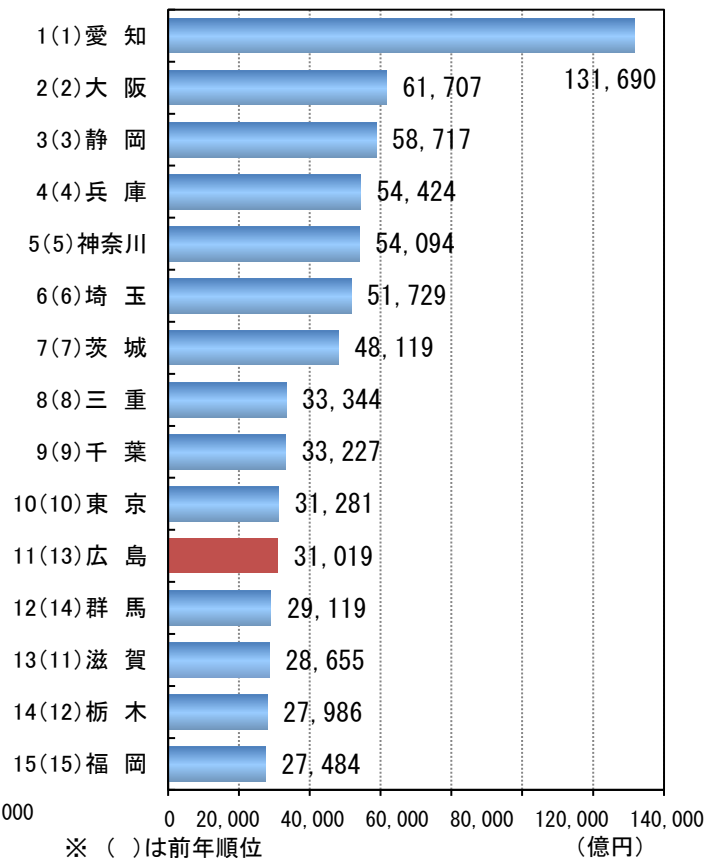


図 2 付加価値額：上位15都道府県



〔資料〕経済産業省『2022 年経済構造実態調査「地域別統計表」』
(令和 5 年 7 月 25 日公表・令和 7 年 8 月 29 日一部訂正) により作成

2 産業別の状況

(1) 事業所数 ～上位3業種は金属製品、生産用機器、輸送用機器～

事業所数は、5,893 事業所となり、全国 13 位。

産業中分類別で事業所数が最も多いのは、金属製品（831 事業所、構成比 14.1%）で、次いで生産用機器（714 事業所、構成比 12.1%）、輸送用機器（642 事業所、構成比 10.9%）の順となった。

上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約4割（37.1%）を占めている（図3）。

(2) 従業者数 ～上位3業種は輸送用機器、食料、生産用機器～

従業者数は、21 万 2956 人となり、全国 11 位。

産業中分類別で従業者数が最も多いのは、輸送用機器で4 万 9453 人（構成比 23.7%）、次いで食料 2 万 7106 人（構成比 12.2%）、生産用機器 2 万 1954 人（構成比 11.0%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の約5割（46.3%）を占めている。（図3）

(3) 製造品出荷額等 ～上位3業種は輸送用機器、鉄鋼、生産用機器～

製造品出荷額等は、9 兆 9439 億円となり、全国 10 位。

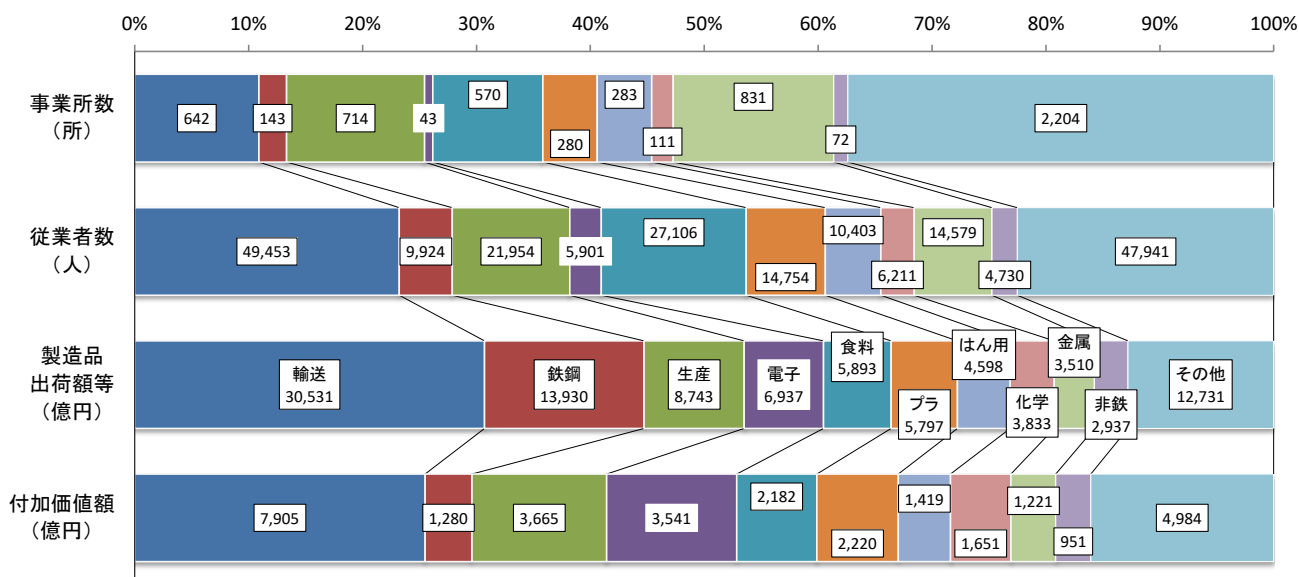
産業中分類別で製造品出荷額等が最も多いのは、輸送用機器で3 兆 531 億円（構成比 32.9%）、次いで鉄鋼1 兆 3930 億円（構成比 11.2%）、生産用機器 8743 億円（構成比 9.7%）の順となった。上位3業種は、前年と同じ順位で、全体の5割以上（53.5%）を占めている。（図3）

(4) 付加価値額 ～上位3業種は輸送用機器、生産用機器、電子～

付加価値額は、3 兆 1019 億円となり、全国 11 位。

産業中分類別で付加価値額が最も多いのは、輸送用機器で7905 億円（構成比 24.4%）、次いで生産用機器 3665 億円（構成比 13.4%）、電子 3541 億円（構成比 8.4%）の順となった。上位3業種は、電子デバイス部品が前年の4位から3位へ順位を上げたほかは前年と同じ順位で、全体の約5割（46.2%）を占めている。（図3）

図3 広島県の主要産業の構成（製造品出荷額等上位10業種・全事業所）



〔資料〕経済産業省『2022 年経済構造実態調査「地域別統計表」』
 （令和 5 年 7 月 25 日公表・令和 7 年 8 月 29 日一部訂正）により作成